



ミラーキャビネット

MFTV1・MD7 シリーズ

取付業者さまへお願い

- 取付けに関しては、必ずこの取付説明書に従い正しく取り付けてください。
※この取付説明書に記載されていない方法で取り付けされ、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますので、十分ご注意ください。
※水栓金具、電気温水器、即湯システムについては、それぞれに同梱の説明書に沿って正しく取り付けてください。
- 同梱の取扱説明書は取付完了後、必ずお客さまにお渡しください。
※保証書（取扱説明書裏表紙）に貴店名、取付日を忘れずにご記入ください。
- 取付業者さまは、商品に欠陥を生じさせる可能性を有しているゆえに、取付業者さまが欠陥を生じさせた場合は過失責任を負うことを十分認識いただき、お客さまが安全で快適にご使用できるようにご協力ください。

安全のために必ずお守りください

●ここでは取付けに際して守らないと人身事故や、家財の損害に結びつく注意事項を挙げています。取付前にこの項目をよくお読みいただき、正しく取り付けてください。

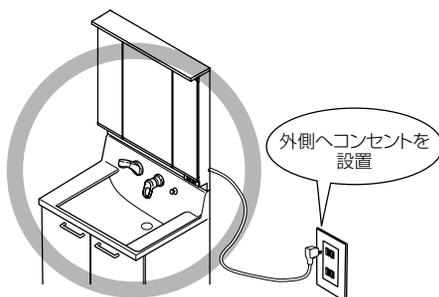
●用語および記号の説明

| | |
|-----------|--|
| 警告 | 取付けを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。 |
| 注意 | 取付けを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。 |
| ⊘ | 「してはいけません!」 (一般的な禁止記号です。) |
| ⊘ | 「分解してはいけません!」 |
| ! | 「指示通りにしなさい!」 (一般的な行動指示記号です。) |

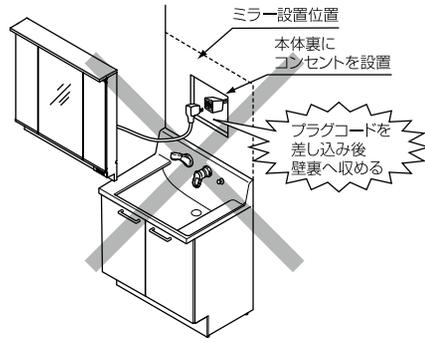
警告

- ❗ 電気工事は電気設備技術基準、内線規程など関連する法令・規定に従って必ず電気工事士の資格を有する者が適切な方法で行う。
※無資格者の工事や、電気工事士による不適切な工事は、火災や漏電の原因になります。
- ❗ 電気工事は必ず分電盤のブレーカーを切って行う。
※感電の恐れがあります。
- ⊘ 改造や修理技術者以外による分解・修理を行わない。
※火災、感電、ケガ、故障の恐れがあります。
- ❗ 電源は必ず適正配線された交流100Vコンセントを単独で使用する。
※AC100V以外を使用すると火災、感電、ケガ、故障の恐れがあります。
- ⊘ コードなど各配線を傷つけない。
※無理に曲げる、力を加える、束ねる、重いものを載せる、挟み込むなど傷つくと火災、漏電、故障の恐れがあります。
- ❗ 電源は必ず専用の回路を設け、110V、15A または、20A の過電流遮断器の設置された回路と接続する。
※火災などの恐れがあります。
- ⊘ 標準タイプ(電源プラグ付きコード仕様)の場合、電源用コンセントは本体の裏側に設置しない。
※本体の裏面など容易に点検・確認ができない場所にコンセントを設けるとホコリや湿気などで、トラッキングが発生した場合に火災の恐れがあります。

正しい取付例 本体の外側へコンセントを設置

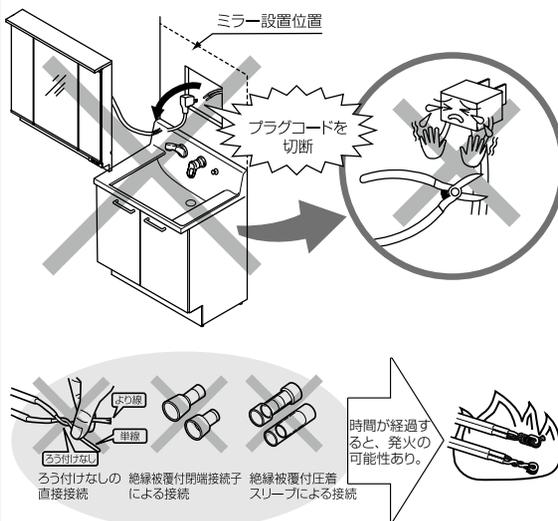


不適切な取付例 本体裏にコンセントを設置



標準タイプ(電源プラグ付きコード仕様)のコードの切断や取り外して直結接続をしない。
※不適切な接続は火災、漏電、故障の恐れがあります。
※標準タイプから電源プラグ付コードを取り外すと、渡りコードが緩み、発熱、発火の恐れがあります。
※直結接続の場合は、必ず直結配線タイプの商品にて接続をしてください。

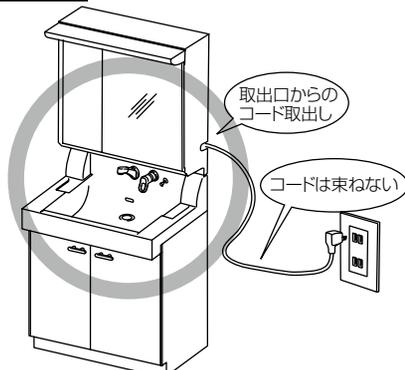
不適切な取付例



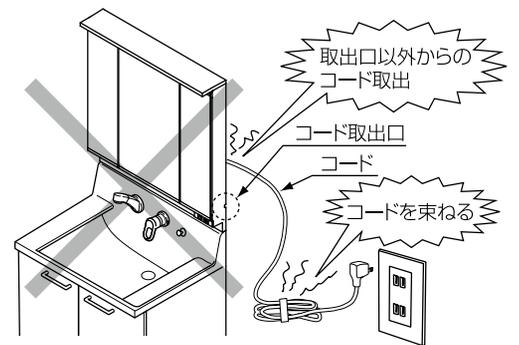
⊘ コード線を束ねたまま使用しない。
※コードが発熱し、火災の恐れがあります。

❗ 電源プラグ付きコードは、取付方法に記載された指定箇所より取り出し、キャビネット本体と壁の間に挟み込まないようにする。
※鏡や扉のゆがみなど商品に悪影響が生ずる恐れがあります。
※挟み込まれたコードから火災、漏電、故障の恐れがあります。

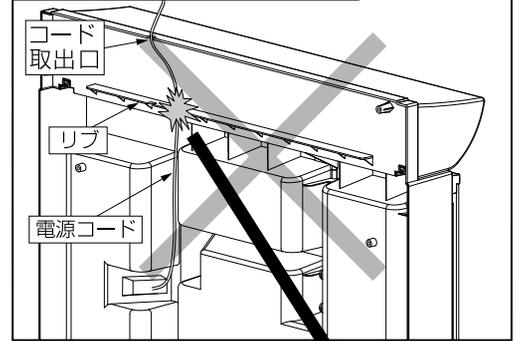
正しい取付例



不適切な取付例



ミラーキャビネット裏面



※コードを壁とリブの間に挟みこむと製品にゆがみが発生し、扉のゆがみなど、商品に悪影響を及ぼす恐れがあります。

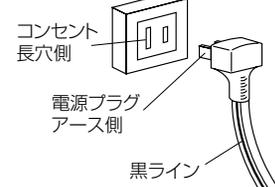
❗ 直結配線タイプの場合、電源線 VVF (単線)、φ1.6mm、またはφ2.0mm を取り出すときは、バリ取りを行ったφ30~50 の穴より取り出す。
※火災、感電の恐れがあります。

❗ 電源線 VVF (単線)、φ1.6mm、またはφ2.0mm は規定の寸法を守って加工する。
※寸法を守らないと火災、感電の恐れがあります。

❗ 電源プラグを抜くときは必ずプラグ本体を持つ。
※コード部分を引っ張るとプラグやコードが破損し、火災や感電の恐れがあります。

❗ 電源プラグをコンセントに接続する際は、周辺のコリなどを取り除いて隙間がないように奥まで接続する。
※ホコリなどがついていたりトラッキング現象による火災の恐れがあります。

❗ 電源プラグは、アース側の刃(コードの黒ライン)をコンセントの長穴に差し込む。
※逆向き接続は照明交換時に感電の恐れがあります。

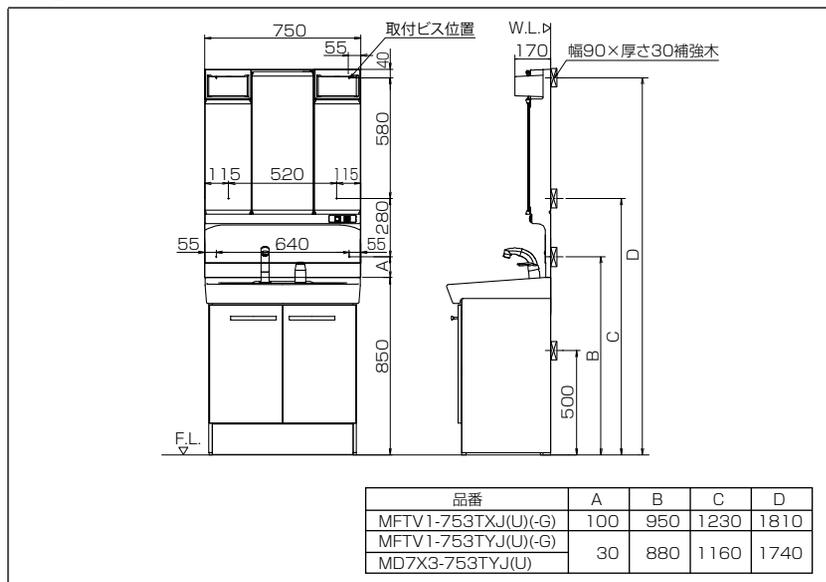


⊘ 浴室内などの高温多湿場所へは設置しない。
※感電や漏電の恐れがあります。

■付属部品 (□にチェックしてください)

| | |
|---------------------------------|------------------------------|
| | MFTV1-753TXJ(U)(-G) |
| | MFTV1-753TYJ(U)(-G) |
| | MD7X3-753TYJ(U) |
| □本体固定用ねじ (平頭φ4.5×60mm)化粧キャップ | 4セット |
| □本体固定用ねじ (トラスねじφ4.0×50mm) | 各2 |
| □トレイ | トレイ (225) ×4 トレイ (300) ×3 |
| □LED電球 | 2 |
| □照明カバー | 2 |
| □歯ブラシ立て | 1 |
| □取扱説明書・取付説明書 | 各1 |

■寸法図 (単位: mm)



お願い

- 直射日光が当たる場合は、必ずカーテンなどでさえぎってください。また、スポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。
※変色や変形、ヒビ割れを起こす恐れがあります。
- 酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類・ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコールなどの溶剤や油類を使用して、キャビネットを拭かないでください。
※変色や変形、ヒビ割れを起こす恐れがあります。
- 壁面工事や建築仕上げ工事に使われる溶剤・接着剤・洗剤・その他の薬品類は、容器などに記載の注意事項にしたがってお使いください。
※人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因になります。

2. 壁面工事の確認

警告

- 取付強度を保てない場合、キャビネットが落下してケガをする恐れがあります。下記事項が守られていることを事前に確認のうえ、取付けを行ってください。
- この説明書に記載されている「キャビネットを取付可能な壁面」以外には、取り付けしないでください。記載の条件を満たさない場合は、壁を施工しなおしてください。
- 壁の不陸が5mm/2mを越える場合は、必ず壁を施工しなおしてください。
- 壁固定ねじは指定のものを、指定本数使用してください。

乾式壁の場合

- 幅90mm×厚み30mm以上の補強木を「ねじ固定位置」(2ページ寸法図参照)に必ず付けてください。
- 補強木は必ず柱・間柱・縦横木など建築躯体に固定してください。また、補強木の固定部材は、キャビネットの固定強度(図2乾式壁参照)と同等以上になるよう、種類・数を選定してください。
- 壁固定ねじが補強木の中心に25mm以上かかるように固定してください。
- 壁固定ねじを補強木に届かせるため、壁仕上げの総厚さは12.5mm以下にしてください。
- 石こうボードなどで補強木が見えない場合は、工務店さまに位置および固定方法を確認してください。さらに針刺しなどで壁固定ねじの位置に補強木の中心があることを確認してください。
- リフォームなどの現場で補強木位置が不明な場合は、石こうボードなどをはがして確認してください。また、補強木がない場合は必ず補強木を取り付けてください。

湿式壁の場合

- コンクリートブロック壁の場合、中空部はモルタル詰めしてください。
- AYボルトを壁本体に届かせるため、壁仕上げの総厚さは20mm以下にしてください。
- 壁固定ねじに合ったAYボルトを使用して、キャビネットを取り付けてください。

- ミラーキャビネットは平らな壁面に取り付けてください。
- 窓などの開口のある部分や壁面から隙間をあけて取り付けるとホコリなどの堆積や、ご使用される方がミラーキャビネット裏の配線に手を触れることで火災や感電の恐れがあります。
- 変形により鏡扉に段差が生じる恐れがあります。

キャビネットを取付可能な壁面

図2 乾式壁

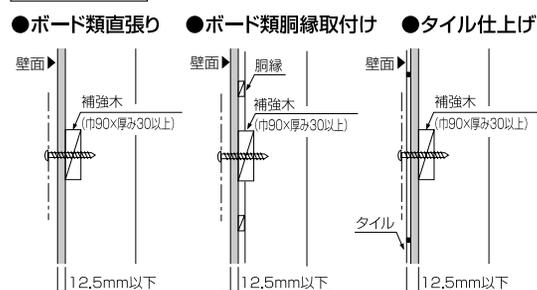
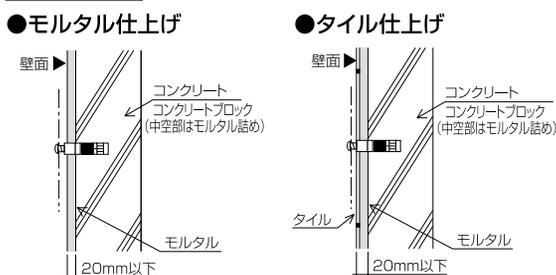


図3 湿式壁



※本文中のねじ固定に関する記載は、乾式壁の場合についてです。湿式の場合は、下記要領で固定を行ってください。

〈湿式壁の場合の取付方法〉

- ①AYボルトの位置を確認し、位置出しをします。
- ②壁にφ7.5mmの下穴をあけ、切粉をよく取り除きます。
※下穴は電動ドリルを使用し正確にあげてください。
※穴深さは60mm以上必要です。
- ③AYボルトを挿入してゴム筒を押さえてボルトを抜き取ります。
- ④キャビネットを壁面に当て、ねじ穴からボルトで固定します。
※別途、下表のAYボルト及び、取付ビスキャップを手配してください。

| 品名 | 品番 | 数量 |
|---------|----------------|------|
| AYボルト | #KB-4×60T(AY) | 1セット |
| 取付ビスセット | #KB-4×60SC(AY) | 2セット |

3. 化粧台の確認

- 洗面化粧台のバックガード上端の高さが床面より850mmであり、かつ水平であることを確認してください。
※水平が出ていない場合、ミラーキャビネットも水平に設置できません。



取付前の確認

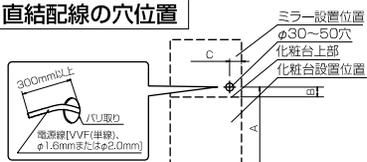
1. 電源の確認

警告

〈直結配線タイプ(品番末尾「-G」の場合)〉

- 取付前にあらかじめ下記の所定位置に電源線VVF(単線)、φ1.6mmまたはφ2.0mmが取り出していることを確認しておいてください。

図1 直結配線の穴位置



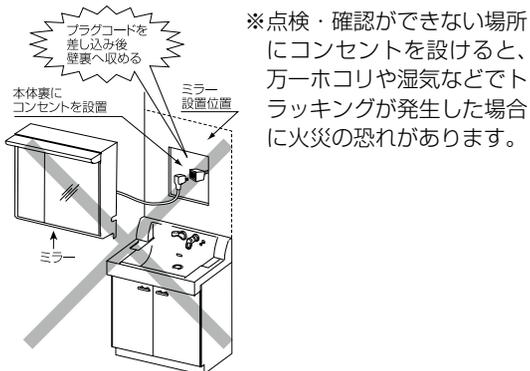
単位(mm)

| 品番 | ミラー高さ | A | B | C |
|---------------------|-------|------|-----|----|
| MFTV1-753TXJ(U)(-G) | 1000 | 1130 | 280 | 90 |
| MFTV1-753TYJ(U)(-G) | 930 | 1060 | 210 | 90 |
| MD7X3-753TYJ(U) | | | | |

- 電源線の有効長さが300mm以上であることを確認してください。
- 穴あけした端部のバリがとってあり、電源線を傷つけないような状態であることを確認してください。
※端部のバリがあると電源を傷つけ、火災・感電の恐れがあります。

〈標準タイプ(プラグコード付き)の場合)〉

- 電源コンセントの位置は、プラグコードの届く範囲で、床面より高く水のかからない場所に設定してください。
- 電源コンセントの位置は本体の裏面には設置しないでください。



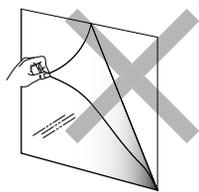
※点検・確認ができない場所にコンセントを設けると、万一口リや湿気などでトラッキングが発生した場合に火災の恐れがあります。

取付方法

⚠ 注意

(品番に「U」が付く場合)

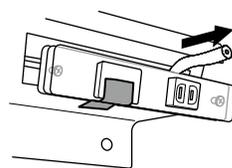
鏡の保護シートは、はがさないでください。
※この鏡には特殊なコーティングが施しており、傷がつきやすくなっています。



お願い

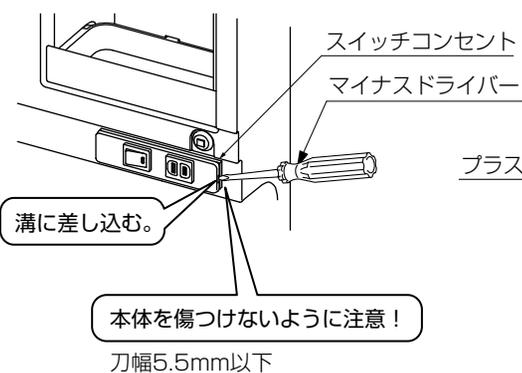
<直結配線タイプの場合>

- 電源線をコンセント開口部から引きこみながら設置してください。
- スイッチコンセントがぐらつかないように、テープ（マスキングテープなど）で仮止めを行ってください。

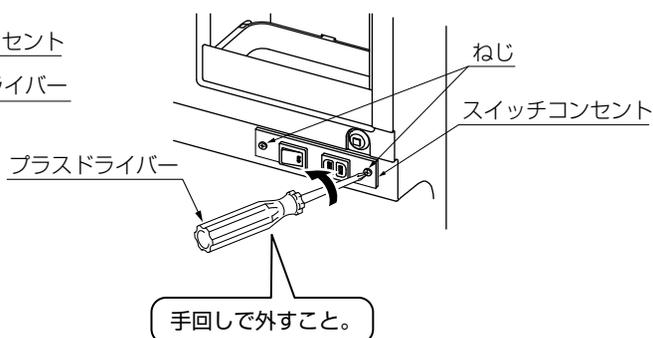


<直結配線タイプの場合(品番末尾「-G」)>

①スイッチコンセントのプレートを取り外します。

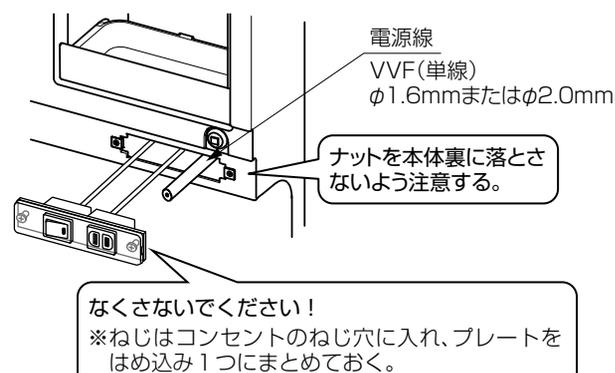


②スイッチコンセントを取り外します。



③電源を取り出します。

※配線されている線は抜かないでください。



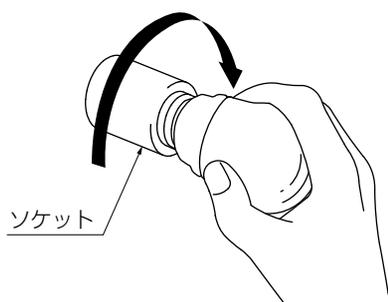
①バックガード上面にミラーキャビネット本体を設置します。

※ミラーキャビネット本体の切欠部(上左右3カ所いずれか)から電源コードを取り出すこと。

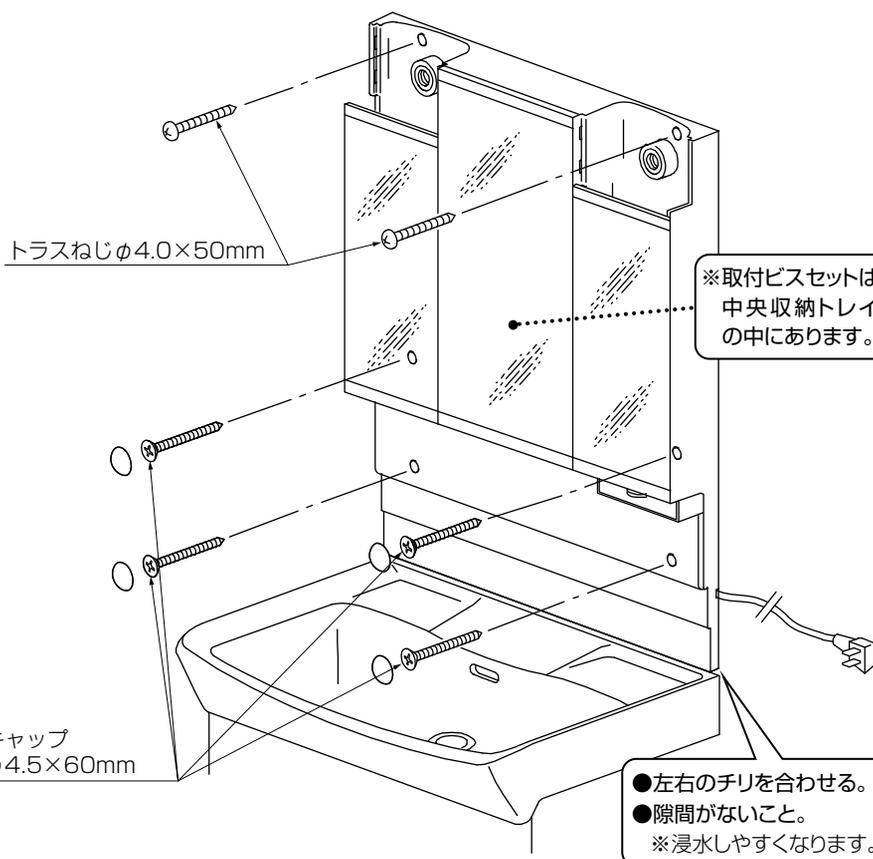
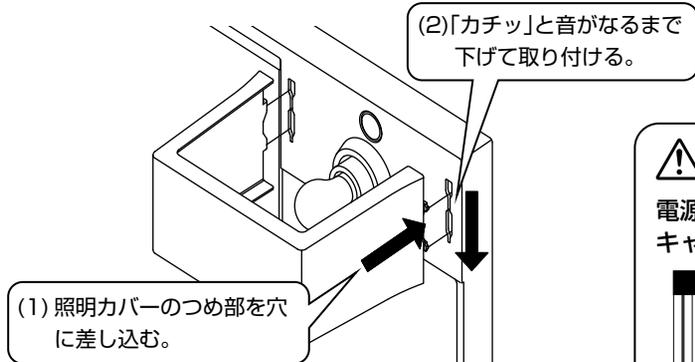
②ミラーキャビネット本体を壁にねじ固定し、化粧キャップを取り付けます。

※トレイを傷つけないよう注意!

③付属の電球をソケットに取り付けます。

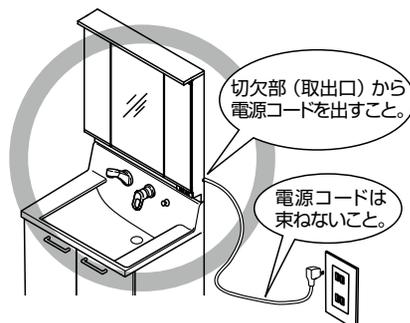
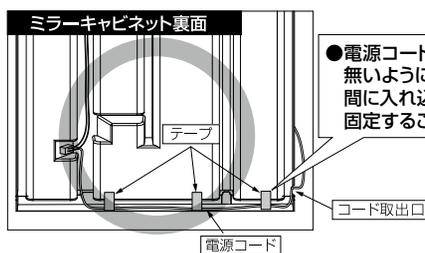


④照明カバーを取り付けます。



⚠ 注意

電源プラグ付コードは、取付方法に記載された指定箇所より取り出し、キャビネット本体と壁の間に挟み込まないようにする。



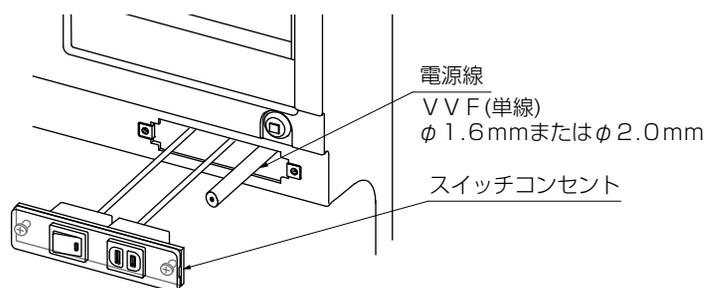
直結配線の方法

電気工事

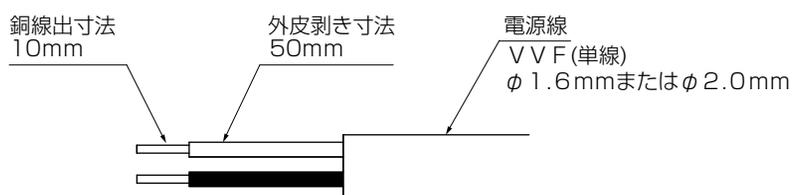
警告

- ❗ ●電気工事は電気設備技術基準、内線規程など関連する法令・規定に従って必ず電気工事士の資格を有する者が適切な方法で行ってください。
※無資格者の工事や、電気工事士による不適切な工事は、火災や漏電の原因となります。
- ❗ ●標準タイプ(電源プラグ付コード仕様)のコードを切断したり、取り外したりして直結接続をしないでください。
※電源プラグ付コードを切断するなどの不適切な接続は、火災、漏電や故障の恐れがあります。
※標準タイプから電源プラグ付コードを取り外すと、取り外す際に渡りコードが緩み、発熱、発火の恐れがあります。
※直結接続を行う場合は、必ず直結配線タイプ(品番末尾「-G」)にて確実に接続を行ってください。

①電源線が取り出され、以下の状態になっていることを確認します。

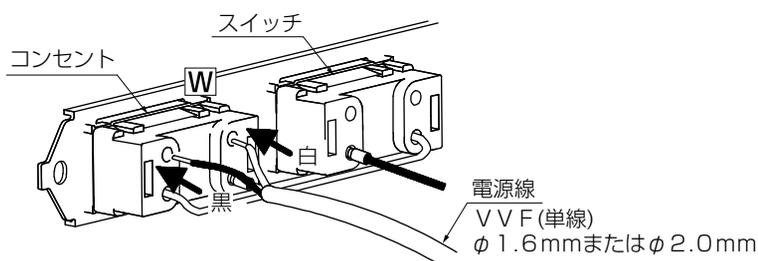


②電源線を以下のように加工します。



③電源線をコンセントの裏側に差し込んでください。

※必ず先端が奥に突き当たるまで確実に差し込むこと。

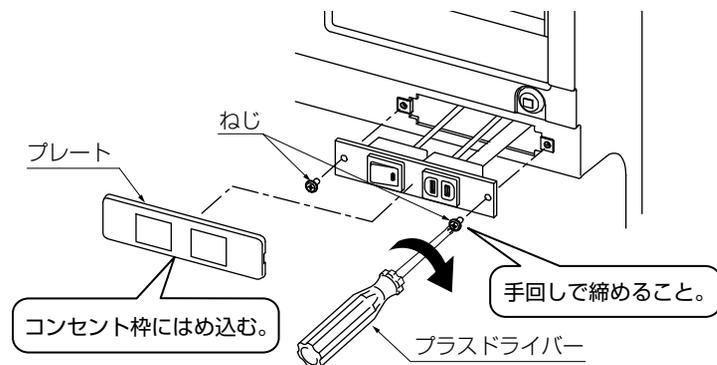


※一本ずつ軽く引っ張り、抜けないことを確かめ、接続に間違いがないか確認すること。

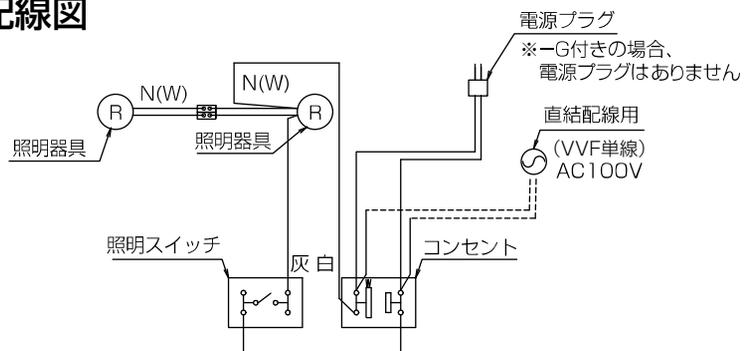
④配線の中に収め、元通りに取り付けてください。

※電源線が長すぎて収まらない場合は、コンセントから電源線を抜いて適切な長さに切断し、②からやり直してください。

- プレートの取外し方⇒取付方法(直結配線タイプの場合(品番末尾「-G」))【3ページ】
※ねじはコンセントのねじ穴に入っています。



配線図



取付後の確認

■キャビネット本体の確認

- キャビネットの固定ねじが十分に締まっていること、緩みがないことを確認してください。
- キャビネット自体にゆがみ、ガタつきがないこと、壁とキャビネットに隙間がないことを確認してください。
- ミラーキャビネットと化粧台バックガード部に隙間がないことを確認してください。

■トレイの確認

- ガタつきなく取り付けられていることを確認してください。

■照明の動作確認

- ミラーキャビネットの電源プラグ付コードを建築側の電源コンセントに差し込み、スイッチボタンを押して、照明が動作(点灯および消灯)することを確認してください。

お願い

製品についた汚れは、やわらかいきれいな布で拭いてください。

■鏡扉の確認

- 左右の鏡扉に段差がある場合は、必ずマグネットキャッチの調節を行い、鏡の前面を合わせてください。

- [マグネットキャッチ調整方法]
マイナスドライバーで調節します。
・手前に出す場合…左に回します
・奥に入れる場合…右に回します
※コード線の挟み込みがないか確認してください。

